



第9次中期経営計画

9th Medium-Term Management Plan

長 **FREUND**

フロイント産業株式会社
(証券コード：6312)



創造力で未来を拓く[®]



機械

MACHINERY

造粒・コーティング装置を筆頭に各種機械装置の技術開発に注力。
医薬品業界を中心に、国内外で数多くの導入実績を誇ります。



医薬品添加剤

EXICIPIENTS

薬は、病気に効く薬効成分と薬の働きを適切に発揮させるための医薬品添加剤からできており、私たちはこれら医薬品添加剤を製造・販売しています。



食品品質保持剤

FOOD PRESERVATIVES

しっとり感が大切な焼き菓子やパンのカビなどの微生物繁殖を抑え、賞味期限を延長できる食品品質保持剤の製造・販売も私たちの仕事です。

グローバル5極体制



Italy

China



● 本社

Tokyo



Yokosuka



United States of America



浜松事業所・技術開発研究所

India



大阪事業所



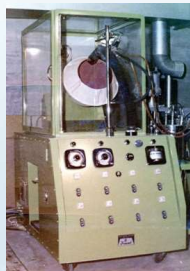
名古屋営業所

FREUND Group Global Business Base

当社の強み

- ・世界有数の製剤機械装置メーカーであり、医薬品添加剤も手がける「世界唯一」のメーカー
- ・「世界初」を産み出す製品開発と卓越した製剤技術力
- ・国内外に拠点、販売網を有し、新興国含めたグローバルカバレッジ体制
- ・フードロス削減に貢献する食品品質保持剤（エタノール蒸散剤は国内シェアNo.1）

1964



自動フィルムコーティング装置
「FM-2型」「FM-5型」
を開発・販売

FM-2型
(テスト機)

2021



錠剤コーティング装置
「HICOATER HV」
を開発・販売

外部環境

国内

- ・医薬品供給不足
- ・労働人口の減少
- ・新技術の急速な発展
- ・アンメットメディカルニーズの増加

海外

- ・世界人口の増加
- ・医薬品需要の拡大
- ・装置ニーズの多様化とグローバル化
- ・ローカルメーカーの台頭

サステナビリティ

- ・地球環境問題の深刻化
- ・働き方、ライフスタイルの多様化
- ・人的資本経営
- ・ガバナンスとコンプライアンス強化

ONE FREUND & BEYOND

※『ONE FREUND』とは、フロイントグループが大切にしている価値観

Number
ONE

特別な価値創造

それぞれの分野、事業で
No.1を目指す

Only
ONE

完全顧客視点

顧客、社会にとって
Only Oneの存在を目指す

Be
ONE

ネットワーキング

グループが
ひとつになる

基本方針

- ・イノベーションを創出し、世界中の人々の健康と豊かな生活に貢献する
- ・機械事業はエリアカバレッジを拡大し、グローバルTOP3を目指す
化成品事業は日本No.1スペシャリティカンパニーとなる
- ・多様な人財が活躍、成長し続ける組織となる

2024年2月期

売上高
営業利益
連結ROE

229億円
12.7億円
5.3%

2027年2月期

売上高
営業利益
連結ROE

250億円
16億円
7.0%

第9次中期経営計画

2034年2月期

売上高

400 億円

営業利益

32 億円

連結ROE

10 % 以上

創立70周年

第9次中期経営計画

(FY2025～FY2027)

- 基盤事業の強化と拡大
- 新製品・新事業開発
- 経営基盤の強化

設備投資

約 **50** 億円

研究
開発投資

約 **25** 億円

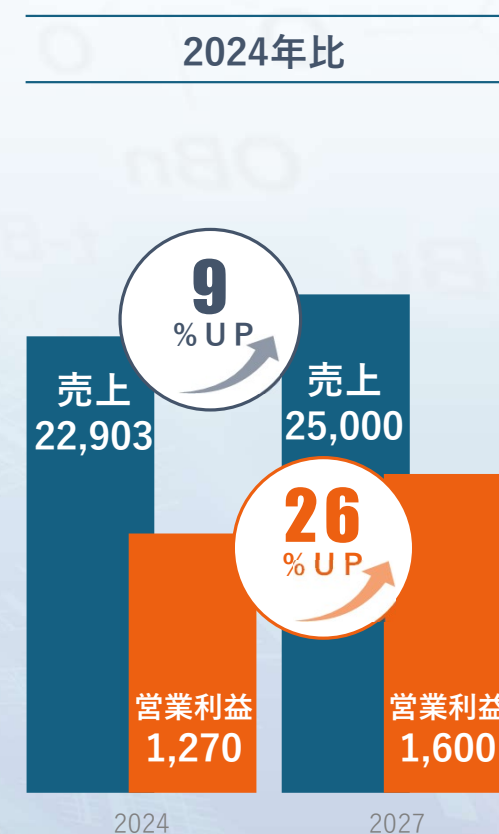
人的
資本投資

約 **7** 億円

第9次中期経営計画目標数字〈連結〉

単位：百万円

	2024年2月期	2027年2月期
売上高	22,903	25,000
機械	16,158	17,750
化成品	6,746	7,250
営業利益	1,270	1,600
営業利益率	5.5%	6.4%
ROE	5.3%	7.0%



※2027年2月期の為替レートは1USドル=130円、1ユーロ=140円で算出

基盤事業の強化と拡大

グローバル

グループシナジーの加速
新興国市場開拓

国内機械

供給能力体制の強化
アフターサービスの深化

化成品

サプライチェーンの最適化
新型球形粒添加剤の拡販

第9次中期 経営計画

経営基盤の強化

サステナブル経営
成長投資と安定配当の実現

新製品・新事業開発

グローバル

製品・サービスのローカライズ
事業領域拡大

国内機械

新技術の活用
新たな連続生産システムの確立

化成品

新規直打用添加剤の開発
新規環境配慮型品質保持剤の開発

基盤事業の強化と拡大

グローバル

取組 **グループシナジーの加速**

目的 **営業戦略・マーケティング、商品戦略を中心にグループシナジーの加速・拡大**

取組 **新興国市場開拓**

目的 **グローバル市場におけるエリアカバレッジの拡大**

基盤事業の強化と拡大

国内機械

取組 供給能力体制の強化

目的 供給能力の拡大と品質・納期・コストの向上

取組 アフターサービスの深化

目的 装置の安定稼働と新たな価値・Solutionの提供

基盤事業の強化と拡大

化成品

医薬品添加剤

取組

サプライチェーンの最適化/医薬品添加剤の新工場建設

目的

安定供給及び増産（2026年春竣工予定）

取組

新型球形粒添加剤の拡販

目的

製剤技術の組合せによる顧客製造コストの圧縮（製造時間の短縮）

食品品質保持剤

取組

サプライチェーンの最適化/自動化生産の実現

目的

生産効率化による社員の働きがい向上とコストダウンの実現

新製品・新事業開発

グローバル

取組 製品・サービスのローカライズ

目的 グローバル5極体制を活かし、医薬品新興国を中心とした多様なニーズへの対応

取組 事業領域拡大

目的 電池・エネルギー向けSolutionのグローバル展開を加速

新製品・新事業開発

国内機械

取組 **新技術の活用**

目的 **品質管理の強化と安定生産への貢献**

取組 **新たな連続生産システムの確立**

目的 **生産の省力化・自動化を実現**

新製品・新事業開発

化粧品

医薬品添加剤

取組

新規直打用添加剤の開発

目的

製剤開発期間の短縮、生産効率化への貢献

食品品質保持剤

取組

新規環境配慮型品質保持剤の開発

目的

フードロス削減に加え、地球環境保全への貢献

当社グループにとってのサステナビリティ Sustainability

「創造力で未来を拓く[®]」というフロイントグループの企業理念に基づき、ステークホルダーと当社グループと社会の持続的な成長を目指すことです。異常気象、資源枯渇、森林破壊、人権問題などに配慮しつつ、企業活動のなかで、お客様へ提供する価値を通じて貢献してまいります。また、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）に配慮し、ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点から、長期的視野で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

経営基盤の強化

下記4つのテーマへの取組みを通じ、中長期的な当社グループの持続的な成長及び企業価値向上を図る

人財育成

人財育成と採用の強化



- ・新卒、中途採用の強化
- ・教育、研修制度の拡充
- ・マルチタスク化に向けたジョブローテーションの実施

エンゲージメント向上

従業員の働きがい向上



- ・譲渡制限付株式（RS）の付与(社員の経営参画意識の向上)
- ・OneFreundMeetingの開催(月1回、経営者の考えを共有)
- ・健康経営への取組み

地球環境保全

事業を通じた地球資源の有効活用
地球環境問題への取組み



- ・省エネ、エコに寄与する機械装置及びシステムの開発
- ・医薬品添加剤出荷におけるモーダルシフトの活用
- ・環境配慮型食品品質保持剤の開発

ダイバーシティ推進

女性活躍推進、仕事と家庭の両立支援



- ・女性管理職比率向上（現状14.7% → 20%以上）
- ・男性社員の育児休業取得率向上（現状33% → 50%以上）

国内機械

自動化、省エネ、エコに貢献する装置の開発・販売



錠剤コーティング装置
「HICOATER HV」



錠剤コーティングPATシステム
「TACT」



滴定画像自動化装置
「HIPPO SCAN」

化成品

医薬品添加剤のモーダルシフト実施



温室効果ガス排出量削減（約5.8トン）



環境配慮型食品品質保持剤の開発・販売



製品のバイオマス度80%以上を実現
「アンチモールド・マイルドEF」



経営基盤の強化

投資計画

※3ヶ年累計

設備投資

約 **50** 億円

- ・医薬品添加剤工場建設
- ・食品品質保持剤生産自動化

研究
開発投資

約 **25** 億円

- ・新技術の活用
- ・新製品開発

人的
資本投資

約 **7** 億円

- ・社員教育訓練費
- ・譲渡制限付株式（RS）付与

配当方針

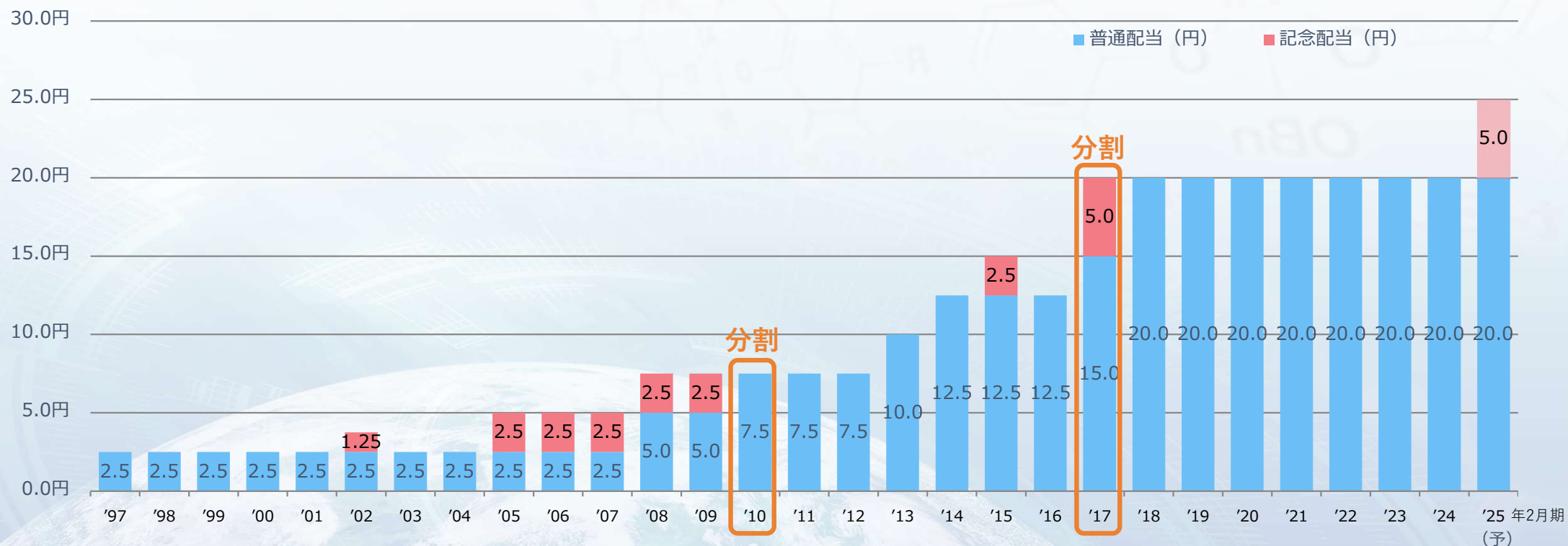
当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけております

本中期経営計画期間におきましては、持続的な成長に向けた投資と安定的な配当のバランスを維持してまいります

また、自己株式の取得は、市場環境および資本の状況などを総合的に勘案し検討いたします

※2025年2月期は、創立60周年記念配当を予定しております

上場来の株式配当・分割



※2009年6月1日付け及び2016年3月1日付けで「1対2」の株式分割を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です
 ※記載は現在の一株あたりの配当額です
 ※上場来、普通配当の減配実績はございません

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。

これは発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は

「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性がありますこと予めご承知おきいただきますようお願いいたします。